

南京・徐州・上海フィールドワーク・ご案内

第21次訪中団／2017年／(A) 8月14日～21日(7泊8日)／(B) 8月14日～17日(3泊4日)

南京事件から80周年となる今夏、21回目の訪中をいたします。

神戸・南京をむすぶ会は、毎年中国南京の虐殺事件の現場を訪ね、日本軍の犠牲になった方々を追悼しています。そして、幸存者（中国では日本軍の被害にあいながらも幸いにも生き残った人々をこう呼んでいます）から、貴重な証言をお聞きしています。

また、南京のほかに毎年もう一か所、日本の侵略の跡地を訪ねます。1997年の淮南に始まり、以後、撫順、太原・大同・北京、ハルビン、蘇州・杭州、重慶、大連・旅順、濟南・青島、無錫・石家庄・天津、武漢、瀋陽・長春、牡丹江・虎頭・虎林、延辺朝鮮族自治州、海南島、香港、台灣、無錫・上海、広州、そして昨年は雲南の拉孟・騰越・龍陵を訪ねました。（写真右、南京）

今年は、徐州、台兒庄を訪ねます。南京攻略後、日本軍は交通の要衝徐州を目指し、北と南から中国軍を挾撃し覆滅しようとしています。日本軍は20万人を超え、対する中国軍は60万人にのぼる兵力の大会戦でした。日本軍が進撃する先々で、中国の民衆は戦火に巻き込まれ、さらに日本軍を食い止めるため決壊させた黄河の濁流によって生活を破壊されました。また、黄塵にまみれて行軍する日本軍兵士にも1万人近い戦死者を出しました。

他国を荒らし、自國の民にも犠牲を強いたアジア太平洋戦争の敗北のち、不戦の願いを込めて憲法は生まれました。それにもかかわらず、今やその平和憲法の尊重擁護義務を負う首相自らが、改憲を明言する憂うべき時代となりました。不戦の決意を新たにするためにも、今一度現地に立って「あの戦争」が何だったのかを思い起こし、次の一步を踏み出す力を得たいと思います。多くの方々のご参加を呼びかけます。



大学生・高校生2名を特別枠（参加費は5万円のみ、保険別）でご招待します。参加したい気持ちを書いた作文をお送りください。むすぶ会事務局で選考して2名を選びます。Aコースのみです。締め切りは6月26日（月）、ふるって応募ください。

●スケジュール

＜Aグループ＞（MUは中国東方航空です）

8月14日（月）07:40 関西空港G カウンター前集合、MU730便 9:40 → 上海浦東空港 10:45、上海からバスで南京へ。南京フィールドワーク①、南京泊。

15日（火）侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館で追悼集会、南京フィールドワーク②、南京泊。

16日（水）南京フィールドワーク③、南京泊。

17日（木）南京よりバスで徐州へ、徐州フィールドワーク①、徐州泊。

18日（金）徐州フィールドワーク②、徐州泊。

19日（土）徐州フィールドワーク③、徐州泊。

20日（日）徐州より新幹線で上海へ、上海泊。

21日（月）上海フィールドワーク、上海浦東空港、MU9821便 14:55 → 関空 18:30

＜Bグループ＞

8月14日（月）07:40 関西空港G カウンター前集合、MU730便 9:40 → 上海浦東空港 10:45、上海からバスで南京へ。南京フィールドワーク①、南京泊。

15日（火）侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館で追悼集会、南京フィールドワーク②、南京泊。

16日（水）南京フィールドワーク③、南京泊。

17日（木）南京フィールドワーク④、南京空港MU2859便、14:30 → 関空 18:00

旅行代金 (A) 184,000円 (大学生 164,000円、高校生 146,000円、含食事代・空港税・燃油費・団費)

(B) 143,000円 (大学生 123,000円、高校生 103,000円、含食事代・空港税・燃油費・団費)

旅行保険の加入をお勧めします。69歳まで5000円、70歳以上7000円。

一人部屋希望者は (A) 56,000円、(B) 24,000円追加です。

旅行手配 (株)神戸華聯旅行社 兵庫県知事登録旅行業第3-408号 TEL 078-391-5185 FAX 332-4458

締切日 2017年6月30日（金）裏面の申込み用紙をFAXまたは郵便でお送り下さい。

合わせてパスポートの関連事項記述部分のコピーもお送りください。

大学生の特別枠、大学生・高校生の参加費を軽減するために募金を募っています。ご協力をよろしくお願いします。

送金先<00930-6-310874 神戸・南京をむすぶ会>

主 催 神戸・南京をむすぶ会&兵庫県在日外国人教育研究協議会

申込み先 神戸・南京をむすぶ会 〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 821-5878 ホームページ <http://ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp